

全工期無災害表彰授与式を行いました

店社名：大和ハウス工業株式会社 東京本店

現場名：(仮称) 横浜機材センター新築工事

工期：令和7年2月20日～令和8年1月30日

工事概要：S造 A棟(作業場棟)地上1階 D棟(事務所棟)地上2階

建築面積：7201.68㎡ 延べ面積：7550.33㎡ 建築物高さ：8.42m



この度、横浜北労働基準監督署において全工期無災害を達成した大和ハウス工業株式会社東京本店（仮称）横浜機材センター新築工事への表彰授与式を行いました。受賞された現場代理人の中村貴彦さん（写真左）に、無災害達成の秘訣や安全管理に対する思いを伺いました。

Q1 全工期無災害を達成した感想をお聞かせください。

A1 日々の安全への取り組みが、無災害達成につながったことをうれしく思います。

Q2 安全管理で苦労した点は何ですか。

A2 敷地が広く、A棟・D棟の2棟構成で工区分けを行っていたため、混在作業を少しでも減らせるよう工程調整や作業間調整に苦労しました。

Q3 特に力を入れた点や工夫した点がありますか。

A3 重機作業時の区画管理と誘導員の配置、立入禁止区画の明確化を徹底しました。特に重大災害につながる重機災害の撲滅を目標に掲げ、安全管理の強化に努めました。

Q4 協力会社や作業員とのコミュニケーションで心掛けたことはありますか。

A4 巡視時には積極的な声掛けを行い、併せて体調確認も実施していました。また、新規入場者にはヘルメットへひらがな表記の名前シールを貼ってもらうことで、作業員同士や管理者が名前呼び合える環境づくりを心掛け、円滑なコミュニケーションにつなげました。

Q5 無災害達成につながった一番の要因は何だと思えますか。

A5 毎日の安全意識向上教育を意識した指示・教育の継続と、作業員とのコミュニケーション強化によって現場全体に一体感が生まれたことが、無災害達成の大きな要因だと思います。

Q6 安全に対する思いや今後の抱負をお願いします。

A6 「絶対に怪我をしない、相手に怪我をさせない。周囲の作業員への配慮を忘れない。」この言葉を私は朝礼で毎日必ず伝えてきました。私の立場でできることは、安全意識向上のための教育を継続するとともに、作業環境を整備し、工程管理を徹底して無理のない施工計画を実現することです。作業員の皆さんに心理的な余裕を持って作業していただくことで、焦りから生じるヒューマンエラーの防止につなげたいと考えています。「安全はすべてに優先する」を基本姿勢とし、今後も安全への取り組みに妥協することなく、現場管理を徹底してまいります。